



令和7年度

ぞうぐみ クラスだより



まだまだ、暑さが続いています、暑さ以上に元気いっぱいの子どもたち。

8月は、複雑なルールの集団ゲームを中心に遊びました。協力や話し合いを通じて、友達のことをより知る機会になり、重なったら譲り合いで決めるなど、保育者は見守り、子どもたちで考えて進めていくという経験を重ねています。その中で、友達とぶつかることもあります、同じグループで解決するためにはどうすればいいかの意見を出し合い、解決する様子もありました。その影響からか、日々の生活でも、自分の意見も言いつつ、相手の意見も聞いて解決するという姿が増え、子どもたちの友達関係での成長を感じています。解決が難しい場合は「せんせい、どうしたらいい？」と、保育者に自分たちから相談し、解決へのヒントをもらうこともあります。

このような姿が増えていくことで、ゲームの中でも、応援する様子が増え、「がんばれ」だけでなく、「〇〇ちゃん、あとちょっと！！」など、応援の仕方にも変化が出てきました！

友達と一緒に何かに取り組むことの楽しさを、少しでも強く感じられるよう
どんどん新しいゲームにも一緒にチャレンジしていきたいと思います。

来月は別日で同法人の高齢者施設 特養ともしびと飛鳥ともしび苑に、敬老の日で訪問をします。それに向けて、おじいちゃん、おばあちゃんも知っている唱歌を意味を一緒に伝えながら、心を込めて歌ってきたいと思います。



ラキューに大はまり中です！

- 指先を使ったおもちゃが好きな子どもたち。そんな中でも、ラキューが今クラスで1番人気のおもちゃです。はじめは、簡単につなげて遊んでいた子どもたちでしたが、今では、説明書を見たり、自分で考えたりと、工夫した遊びになってきており、集中して作る姿が多く見られます。ほかにも、保育者の作ったミッションをみんなで達成し、力を合わせて1つのものを作る楽しさも味わっています。

「うさぎとつき」を読んで

今月の制作は、絵本「うさぎとつき」を読み、どうしてお月見にうさぎが関係しているのかを知りました。そして、黄色の画用紙に大きな満月を描いて切り、白の画用紙にウサギの形を描いて、保育者が切り抜いたものを、月にスタンピングしました。

餅つきをするうさぎやおいかけっこをするうさぎなど、子どもたちで考えてお月見にちなんだ制作を楽しみました。



～運動会に向けて～

4月から運動会に向けて、鉄棒、跳び箱、縄跳びと、日々取り組んでいるぞうぐみ。ひとつひとつの成果もクラス全体と一緒に喜び、とても意欲的な子どもたちに担任も感動をもらう日々です。そんな中、この夏1番取り組んでいるものが「大縄」です。

8の字に挑戦していますが、目標を子どもたちと考え、記録更新をみんなで願い、一緒に数を数えて心をついに頑張っています。他クラスからも応援に駆けつけてくれ、園全体で、ぞうぐみの頑張っている姿を見てくれることが何よりも活力になる子どもたち。

それらすべての影響からか、飛ぶ回数も毎回更新し、より意欲につながっています。

